



当学園の職員一同(令和2年4月現在)
職員同士支え合いながら子どもたちと正面から向き合い接しています。

●施設の運営方針



園長 矢部 雅文



児童福祉法等の法整備以前(前身は昭和14年)から運営している歴史のある学園です。

当学園は、入所児童が明るく衛生的な生活環境のもとで、家庭に代わる場所として心身ともに健やかにして、将来社会人として立派に自立できるように育成することを目的としています。そして児童にとって“何処よりも心が安らぐ場所”でなければならないと「成光学園 運営・管理に関する規程」により定めています。

子どもたちには担当の保育士をつけて、必要な時に必要な手を差しのべる体制です。直接長い期間関わる職員たちのケアも同時に心がけ、臨床心理士等によるカウンセリングも行っています。

子どもたちが社会の規律を学びながら、のびのびと成長していけることを基本方針としています。

児童養護施設とは

児童福祉法第41条に基づき、18歳までの児童で親の疾病や失踪、離婚、死亡等で保護者を失った児童、虐待を受けている児童、その他環境上養護を必要とする児童の家庭に代わる場所であり、職員との信頼関係を基盤として、規律ある健全な生活を築き生活指導や保育、並びに小・中・高校等への通学などを通じて、豊かな人間成長を図る場です。

アクセス



〒252-0021
神奈川県座間市緑ヶ丘4-20-21

事務所
046(251)0128

寮直通
046(251)1213

FAX
046(251)5130

〈メールアドレス〉
seikou-gakuen@giga.ocn.ne.jp

小田急小田原線 各駅停車
「相武台前」徒歩5分

●ご寄附のお振込など

最寄りの郵便局

郵便振替：00260-1-82833

加入者名：社会福祉法人 成光福祉会

または「ゆうちょ銀行」

店名：〇二八 店番：028

口座番号：(普)7415108

氏名：社会福祉法人 成光福祉会



※クレジットカードでのご寄附は
左のQRコードからお申し込み
頂けます
詳細はホームページをご確認ください

●お知らせ

神奈川県からの委託を受け、里親支援等の事業を行います。
詳細は成光学園ホームページをご覧ください。



● 施設概要

- 施設名 ● 児童養護施設 成光学園
- 設置主体 ● 社会福祉法人 成光福祉会
- 園長 ● 矢部雅文
- 職員数 ● 28名(令和2年4月1日現在)
- 設立 ● 昭和22年7月25日
- 入所定員 ● 18歳までの児童75名
- 敷地面積 ● 約6,100㎡
- 主な施設 ● 学童寮棟、幼児寮棟



学童寮棟

鉄骨造2階建 約1,000㎡
各階定員25名

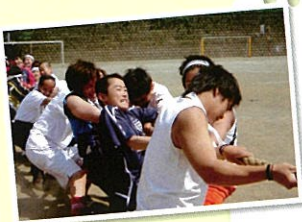
《1階》未就学～小学校1年生までの男子および未就学～高校3年生までの女子
《2階》小学校2～高校3年生までの男子



旧幼児寮棟

鉄筋コンクリート造2階建
約800㎡

《1階》一時保護所
《2階》事務所ほか管理部門



年間行事

※年度により内容が異なる場合があります。

- 4月 かにが沢公園桜祭り
- 5月 園内レクリエーション GW外出
- 6月 坂道マラソン
- 7月 幼稚園花火大会 学園祭
- 8月 野球大会 海水浴 学童キャンプ
- 9月 サッカー交流試合 バスケット交流試合

- 10月 鈴鹿っこ祭り 相東っこ祭り
- 11月 七五三参拝 駅伝大会 青少健ふれあい祭り
- 12月 登山 油壺マリンパーク招待
- 1月 年始の会
- 2月 マラソン大会
- 3月 卒業を祝う会 卒園スキー



駅伝大会
などで獲得した
数々の賞状や
トロフィー



令和2年 幼児寮棟1階を閉鎖し一時保護所に転用。

平成21年 成光福祉会初代理事長矢部皖一が90歳で逝去。

平成20年 成光福祉会初代理事長矢部皖一が90歳で逝去。

平成18年 定員50名の学童寮棟建築落成(地域交流室、親子訓練室等を含む)地域子育て支援としてシヨートステイ事業を開始(未就学児定員5名)

平成16年 1月に社会福祉法人 成光福祉会が認可設立。

平成11年 矢部皖一が初代理事長となる。3月末、残余財産を全て成光福祉会に寄附し、財団法人 座間農場を解散する。

昭和55年 後保護寮シニア養護センター建築落成。(改築のため平成20年に解体)

昭和52年 初代園長 矢部金義が82歳で逝去。矢部皖一が2代目園長となる。

昭和49年 定員20名の幼児寮棟建築落成。(日中保育室、静養室、職員宿舎、事務室等の管理棟を含む)

昭和42年 食堂棟建築落成。

昭和40年 定員55名の学童寮棟建築落成。(改築のため平成20年に解体)

昭和24年 児童福祉法の成立により、司法保護団体を解散。同法に基く養護施設(現在の児童養護施設)として成光学園を開設。矢部金義が初代園長となる。天皇陛下より御下賜金を賜る。

昭和22年 財団法人 座間農場が認可設立。司法保護団体の認可を得て、触法少年の更生にあたる。

昭和20年 当時、日本陸軍士官学校指定農場となっていたが、終戦を期に戦災孤児、浮浪児を引き取り養育する少年の園を建設する。

昭和14年 矢部金義が現在の地に農場を開設し、農事による青少年の心身の鍛練と食糧増産の役を果たす。



《昭和30年代》
「もはや戦後ではない」と言われた頃。私たちの戦後は長く続きました。



《昭和14年》
座間農場開設の協力者たちと(上段左から2人目が矢部金義)

● 施設のあゆみ